

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんく田原教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「個別性を重視した丁寧な支援」	保護者評価では全項目において高評価となっており、子どもの特性理解・個別支援計画に基づいた支援が適切に行われている。	環境の「見える化」の強化 トイレや手洗い、活動手順などをイラストや掲示で明確にし、子ども自身が理解しやすい環境づくりを進める。
2	「安心して過ごせる環境づくり」	環境面・職員対応ともに高い評価を得ており、安心して通所できる環境が整っている。	活動と環境のメリハリづくり 学習・遊びの空間や時間の切り替えを明確にし、より集中しやすい環境を整備する。
3	「保護者との信頼関係の構築」	日々の連絡や面談を通して、保護者との共通理解が図られており、相談しやすい関係性が築かれている。	職員間の支援共有の強化 チャット中心の共有に加え、対面での振り返りや事前共有の機会を設け、支援の質向上を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援計画と実践の連動不足 個別支援計画の共有・実践において職員間で差がある。	情報共有がチャット中心で、深い理解や議論の機会が不足している	支援計画の共有・活用の徹底 計画作成時の事前共有・振り返りを実施し、実践との連動を強化する。
2	振り返り・改善機会の不足 行事や日々の支援に対する振り返りが十分でなく、次の改善につながりにくい。	日々の業務優先となり、振り返りの時間確保が難しい	定期的な振り返り機会の設定 行事・日々の支援について、全体で振り返る機会を設け、改善につなげる。
3	安全・マニュアル共有の不足 非常時対応や安全計画について、職員間での共有や理解が不十分。	安全管理や支援計画に関する体系的な研修機会が不足している	安全管理体制の強化 マニュアルの周知・訓練・研修を実施し、安全意識と対応力の向上を図る。